

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	昆虫同好会（むしむしクラブ）		
タイトル	土壌動物の生態と役割		
実施日時	平成28年12月7日（水）10:00～14:00		
実施場所	千葉市 千葉県立中央博物館、青葉の森公園		
受講者	名	F I C会員他スタッフ	13名

活動の内容

午前：博物館で土壌動物のエダヒゲムシの研究をされている萩野先生に土壌動物についての講義をしていただきました。

知っている土壌動物は？・・・博物館企画展のアンケートでは

1位：ミミズ・2位ダンゴムシ・3位モグラ
8位に最近地球一タフな生き物として有名になったクマムシの名前が入っているそうです。

顕微鏡でとても小さなホコリにしか見えない位の1ミリ以下の虫たちやクマムシも見せていただき

ました。（クマムシの写真は「クマムシ?! 小さな怪物」鈴木忠著より）やはり動くものを見るのは楽しい時間です。クマムシは地面やコンクリートなどに普通に群生する苔の仲間のギンゴケの中にも居るそうです。土壌動物の役割は生物遺体や落ち葉を細かくし、カビやバクテリアによる分解を助ける重要な役割をしているなど生態や役割についてのお話し等もありました。

午後：青葉の森公園を散策・のびのび育ったヒマラヤスギの大木、紅葉、鳥の混群などを見てのんびり散策しました。



クマムシの仲間

